

令和 6年度 寒河江市地域包括支援センター介護支援専門員研修会
・たんぽぽ研修会（認知症支援事例検討会）アンケート集計表
（寒河江市地域包括支援センター・在宅医療・介護連携支援室たんぽぽ 共催）

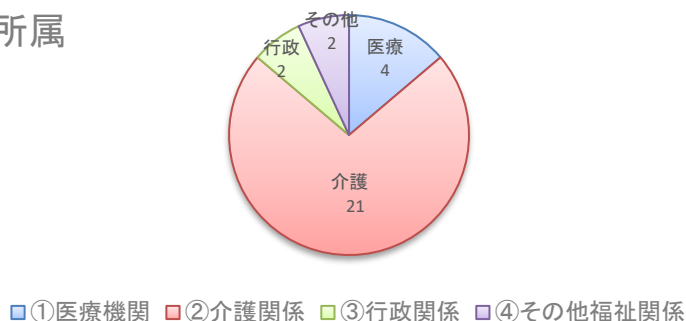
<日 時> 令和7年3月4日(火) 13:30～15:00
<場 所> 寒河江市ハートフルセンター 視聴覚室
<テーマ> 「認知症の人とその家族を“つなぐ”ために」
<講 師> 山形県立中央病院 認知症看護認定看護師 齋藤 真実子 氏
<参加者> 17 事業所 31 名

アンケート回答者：29名

Q1 現在の所属に○をつけてください。

①医療機関	4
②介護関係	21
③行政関係	2
④その他福祉関係	2
⑤上記以外	0
合 計	29

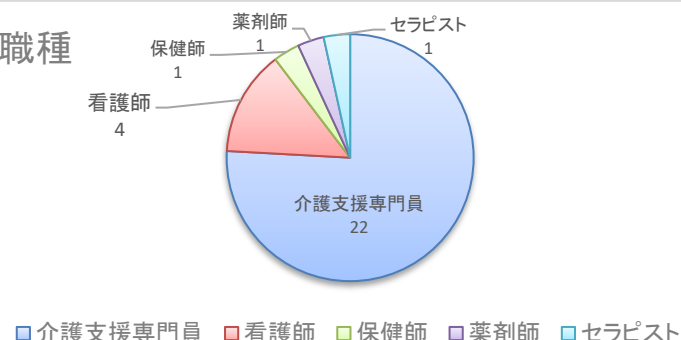
所属



Q2 職種について

介護支援専門員	22
看護師	4
保健師	1
薬剤師	1
セラピスト	1
合 計	29

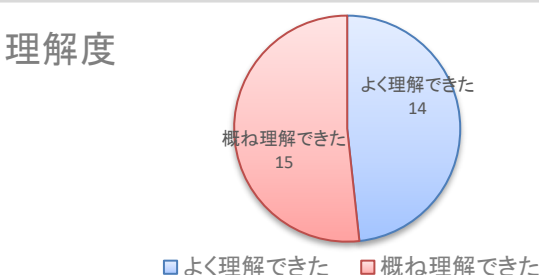
職種



Q3 研修内容の理解度

よく理解できた	14
概ね理解できた	15
あまり理解できなかった	0
合 計	29

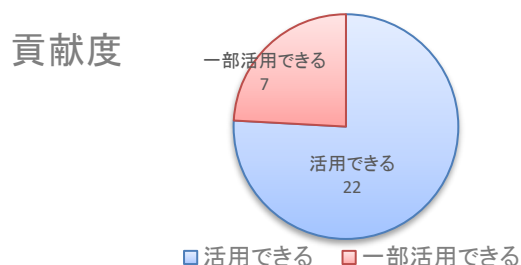
理解度



Q4 研修内容の貢献度

活用できる	22
一部活用できる	7
あまり活用できない	0
合 計	29

貢献度



Q5 認知症の方の支援で悩むことがあればお書きください。

	記述内容
1	家族の認識が低いこと。特に初回訪問時にあきらかに認知症状あっても家族の認識が低いと伝えるまで時間を要することもある。専門医の受診がなかなか進まない。
2	家族も疲れていることが多いが、入院していることでADL低下や認知機能が低下してしまうため早期に退院をすすめざるを得ないこと(病院側として)
3	病気で入院しても認知症の症状が強いと1日で退院してくることがある。独居の認知症の方、周囲は心配しているが、本人の病識がないと必要なサービスにつなげられない。

Q6 今回のテーマに限らず日頃課題に感じていることをお書きください。

	記述内容
1	家族との関係が希薄で支援が困難なケースが多く感じます。家族が遠方でケアマネに指示だけするような感じ。
2	認知症の方には、早くからの支援が必要だと感じる。必ずしもサービスに結び付けなくてもいい方も多いが、かなり重症になってからでは、すぐに施設と家族が希望してしまう。つらい時期が長かったのではと思う。

